

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	四日市大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヨッカイチダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	総合政策学部・環境情報学部・経済学部
	担当教職員名・役職	鬼頭浩文・キャリアサポート委員長(総合政策学部教授)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	4
	受入企業等数	4
	受入企業等名	四日市市役所、東松島市社会福祉協議会、株式会社フローラ、株式会社燎源愛知(平成28年度研修先)
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学の長期休暇などで合計10日間をフルタイムで就労体験を行います。正職員と同じ責任と目線で就労体験を行い、事前研修での評価、就業体験時の勤務状況、就業体験後に提出するレポートにより評価をします。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次以上
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全学共通教育科目の特別科目として2年次以上に2単位を配当。基本的なマナーが身に付いているか、明確な目標があるか、アルバイト経験の有無などの履修条件を設定されています。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修先決定後、マナー研修、インターンシップの心得等を直前研修として行います。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	レポート提出を通して、事後の振り返り等を促します。また、三重県経営者協会主催のインターンシップ事後研修会に参加します。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	研修期間中に担当教員が研修先を訪問します。現場の様子等をモニタリングさせていただきます。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	①事前研修②ガイダンス③インターンシップ研修④研修先による評価⑤レポート提出の全てをクリアした場合に単位が認定されます。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実働10日以上、別途、事前・事後研修は必ず出席。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい

要素 ⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	研修先企業様において、就業体験時の勤務状況をコメントとともに評価していただきます。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	シラバス掲載サイトのURL http://www.yokkaichi-u.ac.jp/life/risyuu/lecture.html
問 い 合 わ せ 先	大学等名	四日市大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	059-365-6721
	メールアドレス	csc@yokkaichi-u.ac.jp